



# 歴史的建造物の保存・活用手法の提案

## 坂出市人口土地プロジェクトによる地方創生

創造工学部 創造工学科 助教 藤井 容子

### 研究シーズの概要

#### 1. 活動の目的

現在、我が国にある近現代建造物に対しては文化財としての保存措置がほとんど講じられていません。これらの建造物の保護を図るためには、建造物における基礎的データの整理と評価基準の確立が求められます。そこで、広く社会が歴史的建造物が持っている価値を認識するとともに、価値の高い建造物の保存を求めていくよう、本プロジェクトを通して積極的に情報発信していくことに努めています。



アーカイブブース内の人工土地模型を見学する子ども達

#### 2. 活動の内容

坂出市人工土地は、1960年代に日本を代表する建築家大高正人と坂出市が取り組んだ再開発事業であり、スラムクリアランスと商店街の不燃化など、当時の市街地活性化に多大な貢献をした歴史遺産です。

現在、人工土地では再整備計画が進められていることから、人工土地をそこに住む居住者のみならず、広く市民にとって有益な場となるよう再生させる視点とともに、その活用の方向性をより多くの人々と共に探ることが必要であろうと考えます。

そこで、瀬戸内国際芸術祭開催期間中の「坂出アートプロジェクト 2016 未来の記憶」、「坂出アートプロジェクト 2017 人工ランド」での出展グループとして、坂出市人工土地内に実験的なアーカイブブースを運営すると同時に、来場した観光客に対して人工土地ガイドツアーとリサーチを実施してきました。

今後も本活動を継続させるとともに、自治体や地元企業と連携を図りながら、地方創生の可能性を探るための様々な取り組みに挑戦していきたいと考えています。



人工土地ガイドツアーを楽しむ観光客

【利用が見込まれる分野】 建築分野、都市計画、まちづくり

### 研究者プロフィール

藤井 容子 / フジイ ヨウコ



メールアドレス [fujii@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:fujii@eng.kagawa-u.ac.jp)  
 所属学科等 創造工学部 創造工学科  
 所属専攻等 建築・都市環境コース  
 職位 助教  
 学位 博士（工学）  
 研究キーワード 建築計画学、とくに人間の心理・行動に基づく環境デザイン

問い合わせ番号：EN-17-003

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで  
 直通電話番号：087-864-2522

メールアドレス：[ccip@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:ccip@eng.kagawa-u.ac.jp)